

# 資料① (差替版)

数値目標設定案

	目標項目	① 実績値 (R2)	H27実績を基準として計算				⑥ 将来推計 (R8)	R2実績を基準として計算	
			② H28見直し時の理想値 (R8)	③ H28見直し時の目標値 (R8)	④ 最新の人口推計で計算した理想値 (R8)	⑤ 最新の人口推計で計算した目標値 (R8)		⑦ 新施策実施後の理想値 (R8)	⑧ 新施策実施後の目標値 (R8)
目標①	年間ごみ量の削減 (家庭系ごみ+事業系ごみ)	21,620 t 家庭系16,357 t 事業系5,263 t	20,321 t 家庭系15,444 t 事業系4,877 t	22,680 t 家庭系17,240 t 事業系5,444 t	20,195 t 家庭系15,348 t 事業系4,847 t	22,543 t 家庭系17,133 t 事業系5,410 t	22,679 t 家庭系17,158 t 事業系5,521 t	20,880 t 家庭系16,463 t 事業系4,417 t	22,111 t 家庭系16,811 t 事業系5,300 t
目標②	1人1日あたり 家庭系ごみ量の削減	484 g/人・日	433 g/人・日	483 g/人・日	433 g/人・日	483 g/人・日	484 g/人・日	465 g/人・日	475 g/人・日
目標③	リサイクル率の向上	24.4% (R1実績)	35.5%	30.0%	35.5%	30.0%	24.4%	28.8%	25.5%
目標④	生活排水処理率の向上	91.3% (R1実績)	-	98.0%	-	98.0%	91.3%	-	98.0%
目標⑤ (追加案)	1人1日あたり 燃えるごみ量の削減	448 g/人・日	-	-	-	-	448 g/人・日	429 g/人・日	439 g/人・日
			人口推計：97,703人				人口推計：97,095人		

**事務局案**

新施策実施後の理想値・目標値の算出方法

**理想値**

将来推計 (R8) に新施策A~Cの効果を用いたもの

**目標値**

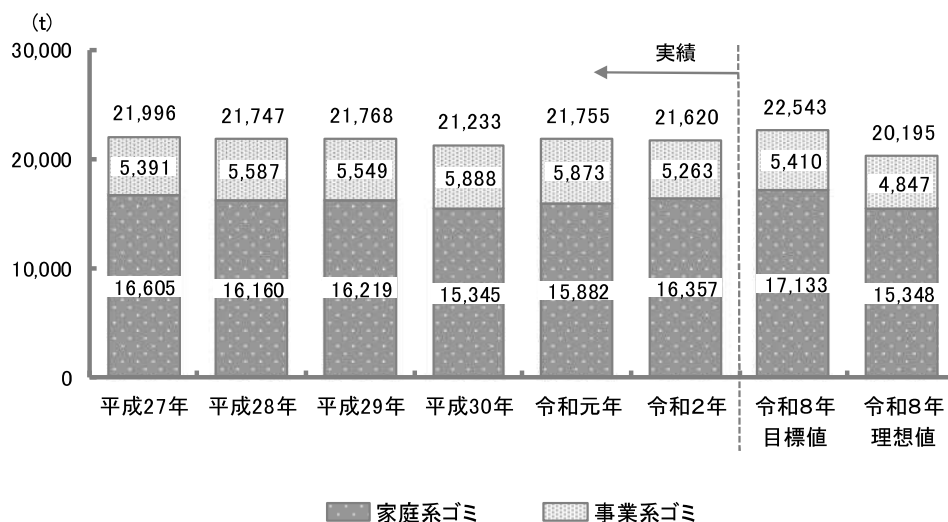
将来推計 (R8) と新施策実施後の理想値の中間値

## 目標値に対する実績値（既存の目標項目分）

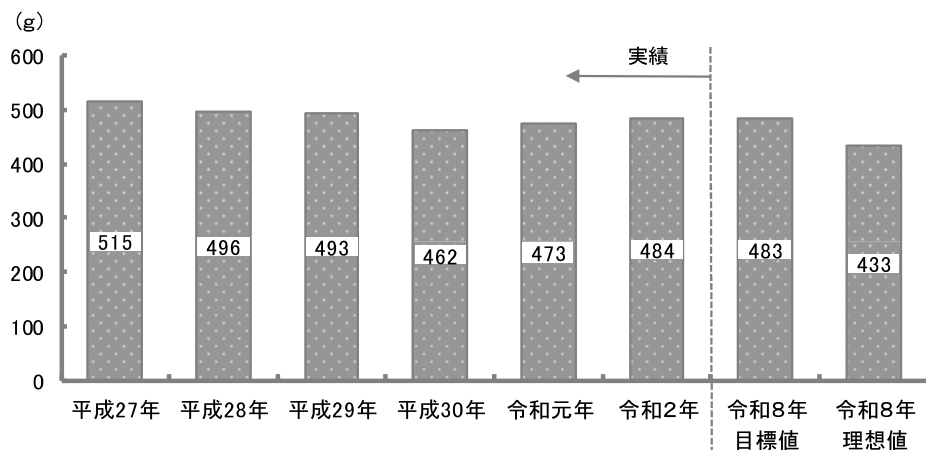
※最新の人口推計で計算した目標値（R8）

### 【ごみ処理基本計画】

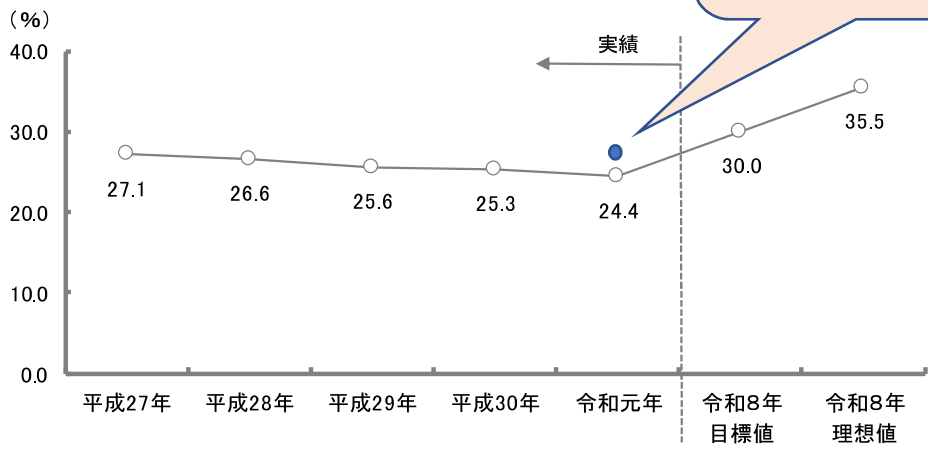
① 年間ごみ量（家庭系ごみ+事業系ごみ）の実績値、目標値、理想値



② 1人1日当たりの家庭系ごみ量の実績値、目標値、理想値

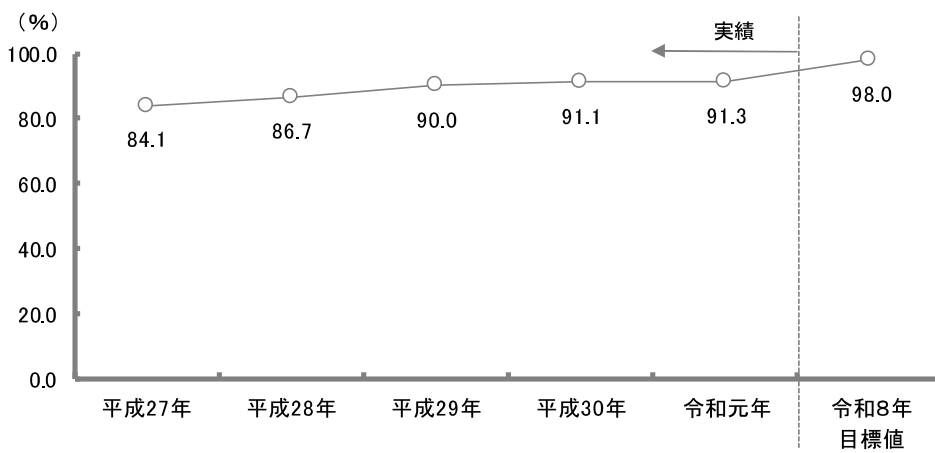


㊦ リサイクル率の実績値、目標値、理想値

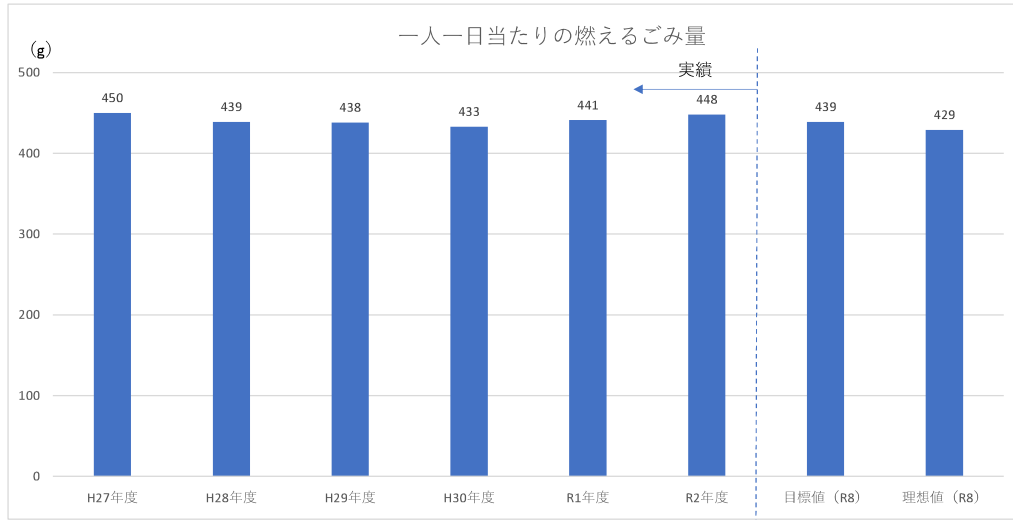


【生活排水処理基本計画】

㊦ 生活排水処理率の実績値、目標値、理想値



目標値に対する実績値（新規追加案の目標項目分）



実績値 (H28年度～R2年度)

1 人口及び世帯数	H28年度 (H29年3月末)	H29年度 (H30年3月末)	H30年度 (H31年3月末)	R1年度 (R2年3月末)	R2年度 (R3年3月末)	将来推計 (R8)	H28年度と R2年度の比
人口	89,202	90,154	90,974	91,652	92,562	97,095	3.360
世帯数	35,692	36,409	37,042	37,560	38,239	39,974	1,830

2 年間排出量 98 (単位: t)

区分	H28年度			H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			将来推計 (R8)			H28年度とR2年度の比較			
	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	
燃えるごみ	14,302	5,559	19,861	14,424	5,527	19,951	14,381	5,858	20,239	14,794	5,869	20,663	15,121	5,255	20,376	15,862	5,512	21,374	819	▲ 304	515	
燃えないごみ (※1)	924	2	926	902	2	904																
粗大ごみ	934	26	960	893	20	913	964	30	994	1,088	4	1,092	1,236	8	1,244	1,297	8	1,305	302	▲ 18	284	
ごみ計 (A)	16,160	5,587	21,747	16,219	5,549	21,768	15,345	5,888	21,233	15,882	5,873	21,755	16,357	5,263	21,620	17,158	5,521	22,679	197	▲ 324	▲ 127	
資源ごみ (B)	7,168		7,168	6,822		6,822	6,947	3	6,950	6,803	0	6,803	5,997	0	5,997	6,291	0	6,291	▲ 1,171		▲ 1,171	
		うち、金属類			328		328	3	331	330	0	330	426	0	426	447	0	447				
		うち、陶磁器・ガラス			133		133	0	133	148	0	148	164	0	164	171	0	171				
		その他			6,486		6,486	6,325	0	6,325	6,325	0	6,325	5,407	0	5,407	5,672	0	5,672	▲ 1,761		▲ 1,761
合計 (A)+(B)	23,328	5,587	28,915	23,041	5,549	28,590	22,292	5,891	28,183	22,685	5,873	28,558	22,354	5,263	27,617	23,449	5,521	28,969	▲ 974	▲ 324	▲ 1,298	

(※1) H30年度から、燃えないごみを金属類に変更。

3 行政回収家庭ごみ (単位: t)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R2年度の比
燃えるごみ	13,893	14,000	14,046	14,415	14,712	15,432	819
燃えないごみ (※1)	924	902					
粗大ごみ	221	234	243	255	309	324	88
ごみ計 (A)	15,038	15,136	14,289	14,670	15,021	15,757	▲ 17
資源ごみ (B)	3,539	3,373	3,882	3,843	3,699	3,880	160
		うち、金属類		328	329	426	447
		うち、陶磁器・ガラス		133	148	164	171
		その他		3,539	3,373	3,421	3,366
合計 (A)+(B)	18,577	18,509	18,171	18,513	18,720	19,637	143

(※1) H30年度から、燃えないごみを金属類に変更。 (※2) 罹災ごみ、草木ごみを含む。

4 尾三衛生組合へ直接搬入された家庭ごみ量 (単位: t)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R2年度の比
燃えるごみ	409	424	335	379	409	429	0
燃えないごみ (※1)	0	0					
粗大ごみ	713	659	721	833	927	972	214
ごみ計 (A)	1,122	1,083	1,056	1,212	1,336	1,401	214
資源ごみ (B)	0	0	0	40	0	0	0
		うち、金属類		0	1	0	0
		うち、陶磁器・ガラス		0	39	0	0
		その他		0	0	0	0
合計 (A)+(B)	1,122	1,083	1,056	1,252	1,336	1,401	214

(※1) H30年度から、燃えないごみを金属類に変更。

5 資源ごみ量 (単位: t)

【回収方法別 実績】

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R2年度の比
エコドーム	1,978	1,689	1,687	1,665	1,259	1,321	▲ 719
各集積所から計画収集	1,358	1,509	2,023	1,998	2,228	2,337	870
拠点回収	203	175	172	180	212	222	9
事業者回収	1,481	1,482	1,232	1,220	735	771	▲ 746
尾三回収	57	48	50	40	38	40	▲ 19
団体回収	2,091	1,919	1,783	1,699	1,525	1,600	▲ 566
合計 (※)	7,168	6,822	6,947	6,802	5,997	6,291	▲ 1,171

【品目別 実績】

(単位：t)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R2年度の比 較
びん	537	492	539	522	523	549	▲ 14
缶	167	172	178	178	196	206	▲ 29
金属類			328	329	426	447	
陶磁器・ガラス			133	148	164	172	
ペットボトル	232	201	196	202	202	212	▲ 30
新聞紙・雑誌	3,699	3,407	3,014	2,783	2,161	2,267	▲ 1,538
紙パック	37	32	33	33	34	36	▲ 3
紙製容器包装	3	3	2	2	2	2	▲ 1
段ボール	1,154	1,151	1,108	1,116	950	997	▲ 204
古布	225	236	220	293	236	248	▲ 11
プラスチック容器包装	940	930	917	922	988	1036	▲ 48
その他	174	198	279	274	115	121	▲ 59
合計	7,168	6,822	6,947	6,802	5,997	6,291	▲ 1,171

※ H30年度から、燃えないごみを金属類に変更。

6 1人1日あたりごみ量

(単位：g)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R2年度の比 較
燃えるごみ	439	438	433	441	448	448	9
燃えないごみ(※1)	28	27					
粗大ごみ	29	28	29	32	36	36	7
ごみ計(A)	496	493	462	473	484	484	▲ 12
資源ごみ(B)	220	207	209	203	178	178	▲ 42
うち、金属類			10	10	13	13	
うち、陶磁器・ガラス			4	4	5	5	
その他	220	207	195	189	160	160	▲ 60
合計(A)+(B)	716	700	671	676	662	662	▲ 54

(※1) H30年度から、燃えないごみを金属類に変更。(※2) 事業系ごみを除く。

7 リサイクル率

(単位：%)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R1年度の比 較
総資源化量	7,615	7,239	7,075	6,932	-	7,344	▲ 307
収集ごみ量	19,948	20,275	20,617	20,897	-	22,138	622
直接搬入ごみ量	5,147	4,608	4,375	4,558	-	4,829	▲ 50
集回回収量	3,572	3,401	3,015	2,917	-	3,090	▲ 484
リサイクル率	26.6	25.6	25.3	24.4	-	24.4	▲ 1.2

(※1) 数値は、愛知県「一般廃棄物処理事業実態調査」より。(※2) リサイクル率=「総資源化量」÷(「収集ごみ量」+「直接搬入ごみ量」+「集回回収量」)×100

8 生活排水処理率

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	将来推計 (R8)	H28年度と R1年度の比 較
計画処理区域内人口	88,808	89,707	90,418	91,440	-	96,870	2,632
水洗化人口	88,126	89,012	89,735	90,681	-	96,066	2,555
下水道人口	62,386	67,357	69,331	70,891	-	75,101	8,505
コミュニティプラント人口	0	0	0	0	-	0	0
浄化槽人口	25,740	21,655	20,404	19,790	-	20,965	▲ 5,950
合併処理浄化槽人口	14,581	13,349	13,009	12,595	-	13,343	▲ 1,986
単独処理浄化槽人口	11,159	8,306	7,395	7,195	-	7,622	▲ 3,964
非水洗化人口	682	695	683	759	-	804	77
生活排水処理率	86.7	90.0	91.1	91.3	-	91.3	4.6

計画処理区域内人口=水洗化人口+非水洗化人口

生活排水処理率(%)=(下水道人口+コミュニティプラント人口+合併処理浄化槽人口)÷(非水洗化人口+水洗化人口)×100

# 資料⑤ (差替版)

## 施策(案)の効果予測

大施策	施策(案)	効果予測
A.水分削減	1 水切り啓発	<p>①水切りにより8.6%削減予測(熊谷市8.2%、大分市8.4%、宇都宮市9.6%、川崎市6.3%、札幌市10.5%→平均8.6%。 (「生ごみのひと絞りモニター制度調査報告書(熊谷市)」、「生ごみのひと絞りモニター集計結果(大分市)」、「水切りによる生ごみの減量効果調査報告書(埼玉県清掃行政研究協議会)」より)。            ※生ごみは、絞れる生ごみと絞れない生ごみ(野菜の固い芯等)に分けていない。生ごみ全体の重量が何%減ったかを表している。            ②生ごみ:燃えるごみ×45.1%(R2年度組成調査結果)。            →【削減量予測】            (1)年間排出量:15,862 t(将来推計(R8)家庭系燃えるごみ)×45.1%×8.6%=615 t削減予測。            (2)1人1日あたり:448 g(将来推計(R8)燃えるごみ)×45.1%×8.6%=17 g削減予測。</p>
	2 生ごみ処理機購入補助	<p>①R2補助実績...電動生ごみ処理機:40基、堆肥化容器:30基            ②R8補助推計...電動生ごみ処理機:40基×(97,095人(R8推計)/92,562人(R2実績))=42基、            堆肥化容器:30基×(97,095人(R8推計)/92,562人(R2実績))=31基            ③水分削減量...電動生ごみ処理機:生ごみ量×6/7削減、堆肥化容器:生ごみ量×3/10削減(「生ごみ処理容器と生ごみ処理機(今治市)」より)。            ただし、堆肥化容器については水分削減後に全て土として利用されるため、ごみとして出されないと仮定。            →【削減量予測】            電動生ごみ処理機:448 g((R8推計)1人1日あたり燃えるごみ)×45.1%×6/7×365日×42基=2,654,911 g削減(年間)。            堆肥化容器:448 g((R8推計)1人1日あたり燃えるごみ)×45.1%×365日×31基=2,286,173 g削減(年間)。            2,654,911 g+2,286,173 g=4,941,084 g(約5 t)削減予測。(1人1日あたりに換算すると、4,941,084 g÷97,095人÷365日=0.14 g)</p>
B.食品ロス削減	1 食品の有効活用等の啓発	<p>①京都市資料を参考にすると、家庭系食品ロスはH25年度(3.3万t)からH29年度(2.9万t)までの4年間で▲12%(「本市における食品ロス削減の取組について(京都市)」より)。→5年間で▲15%削減予測。            ②家庭系ごみ(燃えるごみ)のうち、「手つかずの生ごみ」の割合について            H28年度からR2年度までの5年間の組成調査結果を平均すると3.15%(H28:3.49%、H29:3.25%、H30:5.25%、R1:3.34%、R2:0.41%)。これを食品ロスだと仮定すると、食品ロス量(R8推計):15,862 t((R8推計)家庭系燃えるごみ)×3.15%=500 t。            →【削減量予測】            500 t×15%=75 t削減予測。(1人1日あたりに換算すると、75 t÷97,095人÷365日=2.12 g)</p>
	2 フードドライブの周知	<p>①R2実績 62.8kg(コロナによるイベント中止のため、R2は年1回実施。例年は年2回実施)。            年2回実施したとすると、62.8kg×2=125.6kg。            →直接的な削減量への影響は少ない。意識啓発。</p>
C.紙リサイクル	1 団体回収の情報発信(日程等)	R2回収実績:1,525 t R8将来推計:1,612 t→ごみ量削減の目標値への直接的な影響は無し。
	2 紙リサイクル	H28計画見直し時に20%リサイクルすることを想定して目標値を定めている。
	3 事業者に対し紙リサイクルを啓発	<p>(1)削減目標について            家庭系ごみの紙のリサイクル目標と同様に20%を想定。            (2)削減量について            名古屋市、大阪市等の資料より、事業系ごみの約20%がリサイクルできる紙であると仮定する(「事業者のみなさまへ(名古屋市)」、「リサイクル又は廃棄処理を委託する場合の流れ(大阪市)」より)。            事業系ごみ量(R8推計)5,521 t×20%×20%リサイクル=221 t削減予測。(理想値:5,521 t×20%×100%リサイクル=1,104 t)</p>
生活排水	1 し尿汲み取り世帯へ合併浄化槽設置に関する補助金制度の周知(し尿汲み取り世帯を合併浄化槽へ)	<p>①合併処理浄化槽設置整備事業補助金利用実績(R2):4件。制度周知により8件/年になるとすると、R4→R8の5年間で、8件×5年=40件利用と仮定。            ②非水洗化人口:804件(R8推計)-40件=764件            →生活排水処理率(施策効果があった場合のR8推計)=[88,444(下水道人口+コミュニティプラント人口+合併処理浄化槽人口(R8推計))+40件]÷[96,870(非水洗化人口+水洗化人口(R8推計))-40件]×100(%)=91.38%。(施策実施なしの場合のR8推計:91.30%)</p>

